



第 1633 回例会

平成 22 年 10 月 18 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 68 名 出席者数 40 名
出席率 58.82% 前回修正出席率 77.94%

4. 会長スピーチ



4 カ月目でこのような高い所に立たされ、「話が違う!!」という思いでいっぱいです。ロータリーのことは勉強不足で間違ったことをいうかもわかりませんがロータリーの友情に免じてお許しください。

10/16(土)は理事・役員・社会奉仕委員会の皆様、道路清掃奉仕活動にご参加ご苦労さまでした。本日と11/8は例会終了後国際奉仕委員会がセブ島へ送る中古PC・テレビ等の収集をしてくれます。10/25はマリーナヨットクラブでGSE歓迎例会、11/6,7は地区大会、11/20はIMと行事目白押します。ご参加よろしくお願いします。

さて、私は 16 年前入会し、5 年後に初めて理事・職業奉仕委員長をやらせていただきました。あつとう間に年数だけが経ち、あまりロータリーを理解していないのですが、「ロータリーは奉仕する団体」ととらえる中で、国際奉仕・社会奉仕・新世代奉仕活動を精力的にされている会員の方々には頭が下がる思いです。そして、私が一番身近に感じているのが初めて委員長をやらせていただいた職業奉仕です。

ロータリーの職業奉仕は、自らの企業や専門職に関

しての知識や技術の向上と発展、顧客満足、従業員やその家族に対しての責任、社会的責任など、自らの職業で実践するものとされています。

私は「自利利他」(他人の幸せが自分の幸せ)という基本理念のもと、顧客や従業員が幸せになり、信頼関係を保ち、社会的使命を果たすことができればと思ひ仕事をしています。ロータリーの職業奉仕に通じるものがあるように思います。

先週 10/14 に、8 月に起きたチリ鉱山落盤事故で地下 700m の避難所に閉じ込められた作業員 33 人が約 70 日ぶりに全員救出完了のニュースが入り世界中の感動を呼びました。

1 人のリーダーシップと全員の協力、救出部隊、政府の対応どれもこれもすばらしいものでした。ここにも奉仕の精神を感じました。

5. 幹事報告

幹事 上野山 雅也君

○メーティング

和歌山東 RC 10 月 7 日 中村雅行君
和歌山南 RC 10 月 15 日 中村雅行君

○例会臨時変更のお知らせ

橋本紀ノ川 RC

10 月 19 日 (火) → 10 月 17 日 (日)

IM4 組 高野山大学

那智勝浦 RC

10 月 21 日 (木) → 10 月 21 日 (木) 12:30~
コーヒ例会 勝浦シティプラザリゾート H
高野山 RC

10 月 22 日 (金) → 10 月 23 日 (土)

「ロータリー 100 年の森林」除草及び整備
和歌山城南 RC

11 月 11 日 (木) → 11 月 11 日 (木) 18:30~
一心 テーブルディスカッション「IDM 討論」

○休会のお知らせ

粉河 RC 10 月 27 日 (水)

6. 委員会報告

○国際奉仕委員会 委員長 山畠 弥生君

T V ・ パソコン等の収集の件、ご協力お願い

○社会奉仕委員会 委員長 岩井 克次君

清掃作業に 18 名の参加。

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：谷脇 良樹 幹事：上野山 雅也 SAA：三木 正博

7. IDM発表

○1組 10月2日 田中屋

出席者：角谷、木地、塙崎、土井、横出、田中秀、
朝井、田岡(リーダー)

テーマである「出会いについて」今回は一人ひとり順番に運命的出会い、偶然の出会い、仕事上の出会い、学生時代の出会い、などなど自由に語っていただく形式で進行しました。先ず角谷さんが口火を切って、海南青年会議所に入れていただいてから異業種の人々と多く知り合うことになりロータリークラブを始め多くの人脈を作ることができたこと、特に知り合ったお客様に今から考えれば命を長らえさせてもらったことなどが話されました。唯一心残りはゴルフをやってこなかったこと。これをやっていればもっと多くの人と出会えたのではないかとのことでした。私が感銘を受けたのは、同窓会なら同じ年の集まりなので考えが近しいのに対し松下幸之助が話したとされる、自分より 10 年上や 10 年下の幅の広い年齢の人と接し、その考え方や意見、行動を見て経験できることが大切である。それがこのロータリーの場だというところです。続いて、塩崎さんが長く教員生活をしてきたがどうしても狭い世界で、ロータリーでいろんな出会いがあったことを話されました。平成 7 年に入会後ロータリーのメンバー約 20 人とスウェーデンに旅行に行つたことや、海南市民体育館で地区大会をした際のゲストが竹中平蔵だったことなど懐かしそうに話されました。因みに塩崎さんは私の海南高校時代の先生をされていた恩師であります。木地さんは普段の仕事場ではあまり人と話をする機会が無いが、青年会議所を始めロータリーに入っていろんな人と出会いがあったことを話されましたが、今までの人生で最大の出会いは何と言っても今の奥様との出会いで奥様がいなければ今の自分はない今まで言い切っておられました。(自分が交通事故で怪我をしたときまたま奥様と出会われたとのことです)土井さんは銀行勤務を経て結婚後 2 年で今の仕事に就かれたとのことです。当時この仕事をしているのは海南に一軒しかなく、組合はもとより知り合いもなかったとのことでしたが、ロータリーに入っていろんな方と知り合い助けられたとのことでした。入っていなければ孤立無援どうなっていたかと顧みておられました。田中さんもやはり青年会議所からの出会いが多かったと話されました。食品衛生協会でいろんなところに出たが、異業種のいろんな営業の方法や人との出会いが大きかったとのことです。大阪の南の方での出会いは?とのつっこみに苦笑する場面もありました。横手さんは誰と会ってもそれは大事な出会いであると話されていました。高校時代の出会い、ロータリーの出会い、仕事上の出会いすべてが大事で、たとえその後年賀状の交換だけになつていても大切にしていきたいとのことで今でも 300 枚を超える年賀状を手書きで出しているとのことでみんなを驚かせていました。朝井さんは「ロータリーに入っていろいろお世話になつてましたが、55 歳のとき訳あって一度やめさせていただきました。それがまた 70 歳の時にお誘いを受けいろ

いろいろ考えましたが再入会させていただきました。正直最初は気が重かったところがありましたが、知っている方々が声をかけてくださり、今では戻ってきて本当に良かった」と話されていました。

色々な方々が多くの出会いがある中で私はいろんな友達に出会ってきたのも偶然、大学で今までやってきたサッカーではなく、バスケットに入部したのもたまたま隣に座っていた先輩に声をかけられての偶然、歯科で小児歯科を最初に目指したのも、6年生の追い出しコンペでやはり隣に座った先生に声をかけていただいた偶然、とラッキーだったのか定かではないが、偶然に左右されてきたように思う。できればこれから的人生、積極的にいろいろな場所に自ら行っていろんな出会いを経験したいと思います。今回のこの出会いというテーマ。アバウトで簡単なテーマのように感じていましたが、実は大変奥が深く大事で大きなテーマであったというのが最後の皆さんのご意見でした。2時間を超える白熱した意見本当にありがとうございました。途中から私、またお酒のペースが上がってしまい、お話を正確でないところがあるかもしれませんことをご容赦ください。私事ですが、10月16日の土曜日に第2子の男の子が誕生いたしました。もちろん今年一番の出会いとなりました。お祝い頂きありがとうございました。

○2組 9月24日 美登利

出席者：楠部、平尾、山田、小椋、宮田貞三、阪口、
箕島(リーダー)

テーマ「出会いについて」沢山のお話を聞いていただきました。

☆ロータリーでの出会いについて、先ず箕島さんからお話をいただきました。甲子園へ行けるデ！という誘いでロータリーに入会しました、機会があれば是非行ってみたいと思います。ロータリーに入会して色々な人と知り合う機会が出来て人生にとって大変プラスになっています。また仕事の面でもお話をいただく機会ができありがとうございます。

☆ロータリーにやむなく入会したがいつ退会しようかと、そればかり考えていたが37年が経過しました。ロータリーの会員との出会い、友情に支えられ、ここまでこれたことに感謝します。

☆ロータリーに入会して、沢山の諸先輩と親しくお話しできる機会が有りうれしく思っています。「議員バッジ」より「ロータリーバッジ」！

☆ある人から誘っていただいて、ロータリーに入会しました。ロータリーへ入会を誘ってもらえるような人間になることが必要です。

その他の話題としては、

☆新しく入会された方は、地区大会に是非参加していただきたい。参加すれば・地区の良さが解る・RI の良さが解る・親睦の良さが解る・クラブの良さが解る地区大会参加のバスをイッパイにしよう！

☆15 年前大阪のスイスホテルで地区大会に参加して感激しました。新しく入会された会員を紹介された方は必ずその会員を地区大会に連れて行ってほしい。

○3組 10月1日 美登利

出席者：宇恵、山東、薦村、谷脇、前田（克）、
三木、柳生、山畠

テーマの範囲が広く漠然としているので、まずは「ロータリークラブに入会するきっかけとなった出会い」を切り口に始め、各自の出会いにまつわるいろいろなエピソードを紹介していただきました。

新入会員の私としては、当クラブの発足時のことや諸先輩方の入会当時のことなど、大変興味深いお話を聞かせていただくことができました。ロータリークラブの活動にかかわらず、すべての始まりは人と人との「出会い」からということを再認識するいい機会となりました。

○4組 9月30日 美登利

出席者：奥村、大澤、田村、寺下、大江、倉橋

出会いについて活発な討論がなされました。「ロータリーに入ったことによっていろいろな人に出会えてよかったです」「寺下さんと出会えてパソコン教室に通ってパソコンができるようになった」「医者は閉鎖できなので違業種の人と出会えてよかったです」「国際交流できるようになってよかったです」などの意見がでました。みなさんの意見をまとめるとこの海南東ロータリーに入会しいろいろな人と出会えてよかったです」とでした。

自分としては、まだロータリーに入会したばかりで例会ではなかなかみな様と話す機会が少ないので、このような小さいミーティングで話すことによって新たな出会いが増えたのではないかと感じました。

○ 5 組 9 月 22 日 美登利

桑 添 旅行など40年間の出会い、胃がんで手術しさとりました。

上 中 知り合いが出来た。異業種、年齢別の出会い。
上野山 ロータリーを通じて出会いができた。Make
up を大切に

吉田 きっかけに同級生の家本先生。震災の歌碑、(駅前)以前の高校教師で祖野が独創だった

(續前) 以前の簡便 官田(散) 30周年の用い出

名手 世代をこえて、仲良く、同好会を通じて親睦を深める

魚 谷 世代の距離感。H16～開業。田村さんからの誘いがあり入会。遠方から來たので知り合いが少なかった。

○ 6 組

出会いについて全員で話をしました、まず皆さんロータリーに入会された経緯や、チャーターメンバーでもある上南さんから、美里から海南に移って知り合いがあまりいない状態からJCでたくさんの仲間と出会い、海南東ロータリーをつくった話や、先輩がいて新入会のメンバーにはつきっきりで色々教えたもらった話や、今と違って服装や出席条件等も厳しかったという話など色々と聞かせてもらいました。

また、深谷さんから海外に行ったときでもロータリーバッジをつけているだけで現地のメンバーの方から声をかけてきてくれて仲良くなりすばらしい

出会いがあったという話を聞き驚かされました。やはり皆さん同じ意見だったのは、海南東ロータリーに入会しこのメンバーに出会えたこと自体がすばらしい出会いだと言うことや、他のロータリーのメンバー特に異業種の仲間と出会うことができることが魅力的だということ、しいては今日この場でIDMを開催しこのメンバーが集まり、私が普段あまり話するがない先輩のメンバーと話す機会を持ち、過去のロータリーの色々な話しを聞くことができたこのIDMこそが、私にとって一番の出会いでした。

最後に私がネットから引用した「縁」という文章を読み上げまとめとしました、内容を要約すると、「人生にはさまざまな出会いがある、それを縁というならば、縁のない人とは一生かかっても出会うことはない。辞書では 人と人を結ぶ人力を超えた不思議な力を縁としている。いい縁もあれば悪い縁もある、ではいい縁を引き寄せるためにはどうしたらよいのか? 他人を変えられないとすれば自分が変わらしかない、物と金は努力によって得ることができるが、縁は自由に得ることはできないのだ、人と人との和を大切にして感謝の気持ちで接する、そうすれば善き縁は必ず向こうからやって来る、縁は偶然ではない、必然なのである今日この場にいるメンバーの皆様との出会いが、偶然ではなく必然であると信じます。

○7組 9月22日 美登利

出席者：谷脇会長、上野山幹事、那須(リーダー)、
小久保、口井、岸、中村文、山名、谷口、
中村(雅)

ロータリークラブとの出会いそしてクラブに入会してから友との出会いについて。

先輩皆穰方の話

- ・20年前先輩に進められてロータリーって一体何するところよ？昼飯食べるところよ。
 - ・ゴルフの途中で考える間も無く入会させられた。皆の顔見れば、そうそうたるメンバーでびっくりした。
 - ・新しく入会した人、リーダーは少しでも早く会場に来て、皆と話をする。特に、自分は例会へは早く出席をしたい。
 - ・ビジネスの途中で先輩と同席ロータリーの話を永遠と聞いた。早く帰りたかったのでOKした。
 - ・選挙の応援の後、スナックで先輩に話を聞いた。何も分からぬままにOKした。会費の高いのにびっくりした。
 - ・ロータリーの出会いは 仕事 地域 スポーツ 週1回の例会親密度は他の会とは違う、ただの出会いではない。
 - ・先輩の進めにより接点の無い人々の中に入れて頂いた。

Make Upについて、他のクラブに行かせて頂いて飯がうまい、今度はそこで卓話を食事の時はバックミュージック、童謡からロータリーソングまで、その中でいろいろと役をさせて頂き他クラブの人からも声をかけて頂ける、これこそが出会いである。

まとめとしては、とにかく事務局から送られてくる行事、奉仕、その他出来る限り出席をさせていただく、

これこそが出会いである。参加することに意義がある。
その他の質問

会長、幹事さん来て頂いたので質問について答えて頂きました。

- ・夜間例会時の会議前の飲酒について
- ・例会時の服装、ゲスト、お客様が来られる時 ネクタイ・上着を使うようにしたら
- ・夜間例会等の席順 クジ引きで席を決めてと色々な方と出会える。

8. 閉会点鐘

次回例会

第 1634 回例会 平成 22 年 10 月 25 日(月)

マリーナシティ ヨットクラブ 12:30~

海南 3 クラブ合同 G S E 歓迎例会



ニコニコ・BOX

新垣 勝君	清掃作業ご協力有難う。
朝井 修君	市展と県展の写真の部で入賞しました。
阪口 洋一君	ありがとうございました。
上野山雅也君	土曜日、清掃活動お疲れ様でした。
三木 正博君	"
岸 友子君	会長代理させて頂きます。
田岡 郁敏君	10月16日第2子の男の子が産されました。



国際ロータリー ニュース

「ポリオはあと少しで撲滅できます」 公共奉仕広告を活用しよう

「ポリオはあと少しで撲滅できます」というキャッチフレーズの公共奉仕広告を用いて、ポリオのない世界の実現を人々に呼びかけるキャンペーンに、ぜひご協力ください。この公共奉仕広告では、「ポリオ撲滅」のメッセージを広げるために、数々の著名人がロータリーに協力しています。

デズモンド・ツツ名誉大主教に、映画スターのジャッキー・チェンさん、ゴルフの帝王ジャック・ニクラ

ウスさんに、さらには自然保護論者のジェーン・グドール博士など、20人を超える国際的著名人や各地域の有名人が、ロータリーの意義ある活動に賛同し、広告のモデルとなってくれました。これらの著名人がポリオ撲滅も「あと少

し」であることを指で示した広告キャンペーンが、世界中で大々的に展開される予定です。また、テレビとラジオ用の公共奉仕広告も数カ月以内に制作される予定となっています。

ロータリークラブは、こ

れらの広報資料を用いて「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」に対する認識を高め、活動を支援することができます。このチャレンジは、ポリオ撲滅のためにビル・アンド・メリンド・ゲイツ財団から授与された3億5,500万ドルの補助金に上乗せする2億ドルを集める活動です。

クラブや地区は、「ポリオはあと少しで撲滅できます」の広報資料を地域の特色に合わせて、ポリオ撲滅のための募金活動の広報に活用することができます。さらに、地元新聞、看板廣告会社、テレビ局、ラジオ局から非営利目的のために廣告枠を無料や割引価格で提供してもらえる可能性もあるかもしれません。

2010年国際協議会で初めて「あと少し」の広告が紹介されて以来、「ザ・ロータリアン」誌や、「USA Today」、「シカゴ・トリビューン」、「ウォールストリート・ジャーナル・アジア」といった紙面にて掲載されました。2010年RI国際大会に出席したロータリアンには、カナダ、モントリオールのトルドー国際空港内でこの広告を目にした方もいるのではないでしょうか。

ツツ名誉大主教、ヨルダンのヌール王妃、クラシック・バイオリニストのイツァーク・パールマンさんといった、文化の壁を越えて世界で活躍する著名人が国際ロータリー広報部の呼びかけに応えてくれました。さらに、アミタブ・バッチャンさん（インド映画界のスター）、ヌワンコ・カヌさん（ナイジェリア出身の人気サッカー選手）、アンジェリック・キジョーさん（ベニン出身のシンガー）、カン・スジンさん（韓国出身のバレリーナ）など、特定国や一定地域で絶大な人気を誇る人々もこの広告に参加しています。

中でもイツァーク・パールマンさんは、ロータリーのポリオ撲滅活動に並々ならぬ貢献をしています。パールマンさんは、3月7日、シカゴのシンフォニー・センターでシカゴ交響楽団と共に演し、2回目となるポリオ撲滅コンサートを開催します。2009年12月にニューヨークのリンカーン・センターで開かれた初回のコンサートでは、パールマンさんとニューヨーク・フィルハーモニック・オーケストラが共演し、チケット完売となる大成功を収めました。



これまでに20人を超える国際的著名人や地域の有名人がロータリーに協力し、掲示板や広報誌を用いて「ポリオ撲滅」メッセージを広げてくれました。